

“F Aから次世代の  
クリーンルーム・テクノロジーまで”

**JASDAQ**  
(証券コード: 5742)

Key Technologies for the future

Alfa Frame Systems

Factory Automation

Cleanroom

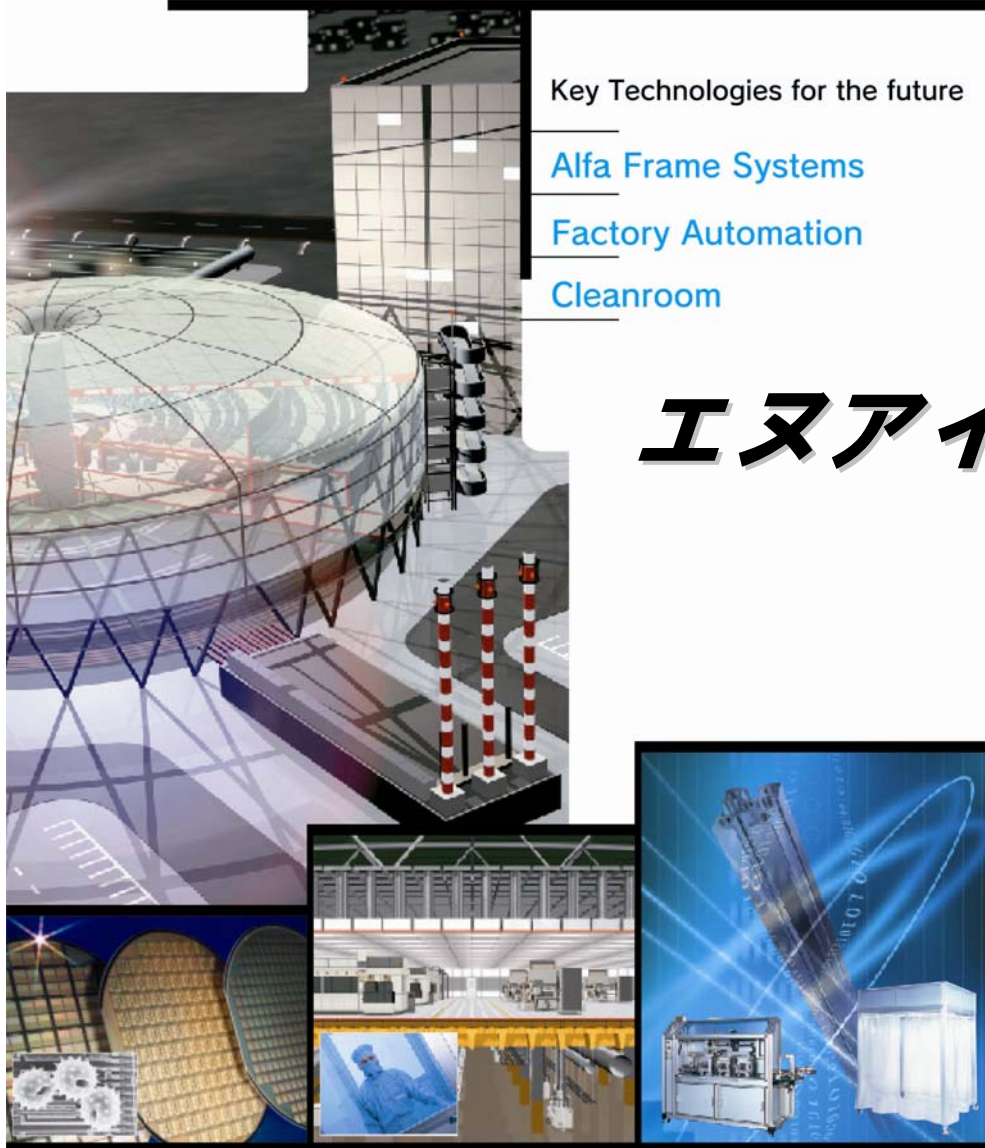
# エヌアイシ・オートテックの 現状と施策



2008年3月16日

エヌアイシ・オートテック株式会社

代表取締役社長 西川 浩司



# トピックス



お陰様で上場1年目にして

**2007年度ジャスダックIR優良会社**に選定されました。

“976社中8社”



(株)ジャスダック証券取引所  
代表執行役社長 筒井高志様

エヌアイシ・オートテック(株)  
代表取締役社長 西川浩司

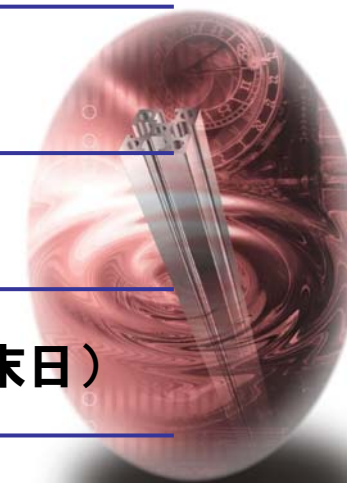


# 目次

1. 目次
2. 会社概要
3. 沿革
4. 事業所
5. 企業理念・経営方針
6. 環境方針
7. 3つの事業部門
8. 決算概要
9. 事業環境と当社の取り組み
10. 開発の基本方針
11. 戦略の基本方針
12. 株主還元について

# 会社概要

<b>社名</b>	<b>エヌアイシ・オートテック株式会社</b>
<b>設立</b>	<b>1971年5月17日</b>
<b>代表者</b>	<b>代表取締役社長 西川 浩司</b>
<b>本社所在地</b>	<b>富山県富山市清水元町7番8号</b>
<b>東京本社</b>	<b>東京都江東区有明三丁目1番25号 有明フロンティアビルB棟11階</b>
<b>資本金</b>	<b>156,100千円(2007年9月末日)</b>
<b>従業員数</b>	<b>153名うち正社員135名(2007年9月末日)</b>



# 沿革

当社は創業80年の長い歴史を有する(時代と共に変革)

1927年	4月	富山県富山市に西川鑪製作所を設立、鑪の製造及び加工を行なう
1960年	3月	西川鑪製作所をクレト商会に商号変更
1970年	10月	株式会社クレトに商号変更(2002年4月吸収合併)
1971年	5月	富山県富山市にキュノ・トヤマセールス株式会社(現当社)を設立
1985年	4月	エヌアイシ・オートテック株式会社へ商号変更
1986年	4月	国産初のアルミ構造材「アルファフレーム」”ALFA FRAME® SYSTEM“を開発
1988年	5月	「アルファフレーム」の商品化、製造・販売を開始
1997年	12月	(独)M+W Zander社とクリーンルーム事業を開始(合併会社)
2001年	3月	同クリーンルーム事業を継承し、クリーンブースの製造・販売を開始
2006年	3月	ISO9001(2004年8月) ISO14001認証を取得
2006年	6月	JASDAQへ新規上場
2007年	6月	技術開発センター開設

# 事業所（生産・開発・販売拠点）



流杉工場(富山市)  
・装置の設計・製作



立山工場(中新川郡立山町／写真左)  
・アルファフレームの切断・出荷  
技術開発センター(写真右)  
・アルファフレームの改良・開発  
・各種装置関連技術の開発



商事部門(富山市)



アルファフレーム関西(大阪府東大阪市)  
・アルファフレームの加工・販売



東京本社(東京都江東区)

# 企業理念・経営方針

## 企業理念

公明正大

“志”

甘え・自惚れ・驕り・マンネリは企業の敵である  
変化は常にチャンスを生み出す

## 経営方針

「モノづくりを通じて社会の発展と創造に貢献する」

### お客様

知恵と技術を結集した高品質な製品とサービスを提供

### 社員

仕事を通じて自己実現の機会を与え、快適で働き甲斐のある職場環境

### 株主

期待と信頼にこたえられるよう最大限の企業努力

### 地域社会

『感謝、感謝』の気持ちで地域に貢献

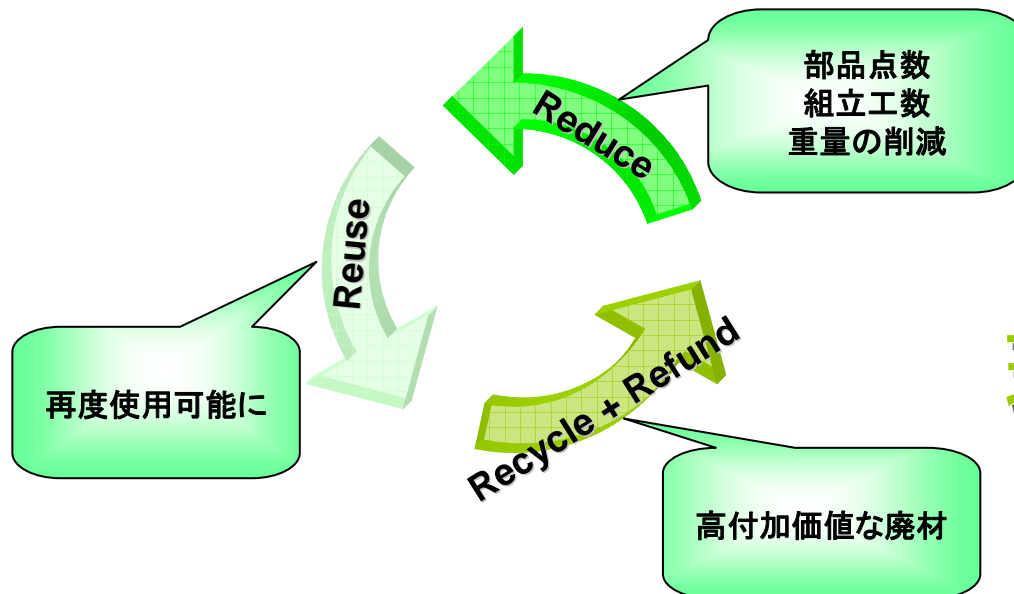
# 環境方針

## 環境理念



当社は、地球環境保全が21世紀における人類の最も重要な課題であることを認識し、将来にわたって人類の夢が守られる持続可能な社会作りを義務として、積極的に社会貢献する。

## アルミの特性



3R(リデュース・リユース・リサイクル)  
+ 1R(リファンド) = 4R  
トータル原価低減

環境に優しい  
グリーンテクノロジー



# 3つの事業部門

アルミ構造部材から高度な自動化装置、さらにはクリーンルームの製造・販売までの一貫体制

## アルファフレーム部門

- ・アルミ構造部材の国内でのパイオニア的存在
- ・経験豊富なCAD設計陣による技術設計支援・サービス
- ・新製品開発力
- ・豊富な製品群(1,500以上)による多様なシステムの提供

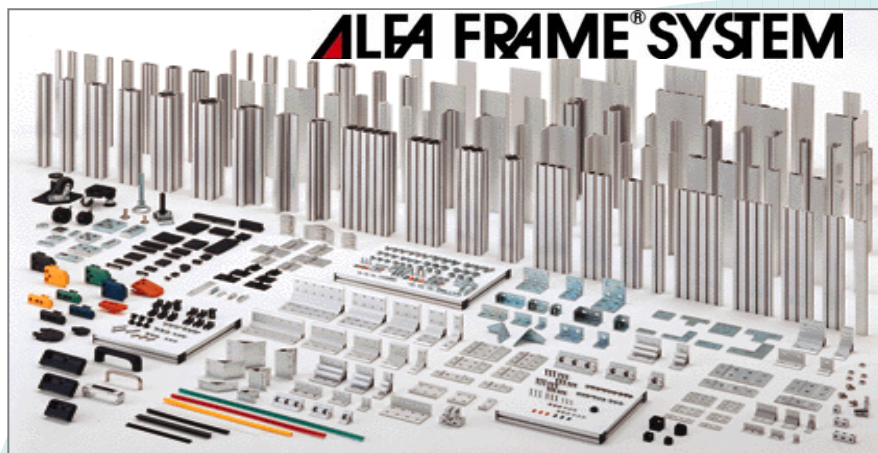
## 装置部門

- ・幅広い業界で利用される技術
- ・特定の業界に依存しない業務体系
- ・先端技術力を持つ企業から継続的受注体制

## 商事部門

- ・「メーカー機能」を活用した設備の導入提案

アルファフレーム＋装置＋商事  
＝高付加価値技術の提供



【アルファフレームの特徴】

1. 環境にやさしいリサイクル性
2. 軽く強く美しいフレーム
3. 急な設計変更や増設に対応
4. 豊富な製品群“1,500以上”
5. 幅広い分野に対応



ケーシング

アルファフレーム  
部門



キューブブラケット



ブラックフレーム



高剛性フレーム

組立工数比較 (一般例)

●ALFA FRAME<sup>®</sup> SYSTEM(3つの加工工程)

設計 + 切断 + 組立

●スチール製構造部材(6つの加工工程)

設計 + 切断 + 溶接 + 機械加工 + 塗装 + 組立



洗浄装置



検査装置

アルファフレームシステムを使用したFA装置、クリーンブースの製造販売

装置部門



クリーンブース



搬送・梱包装置



アルミ構造物

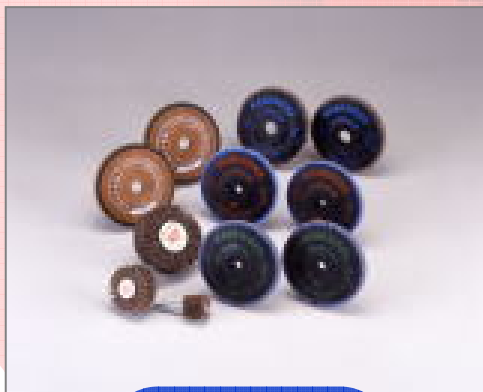


地域密着型のメーカー機能を持った商社  
として、安定したビジネスを展開



工場等の機械設備

## 商事部門



工業用砥石



油脂類

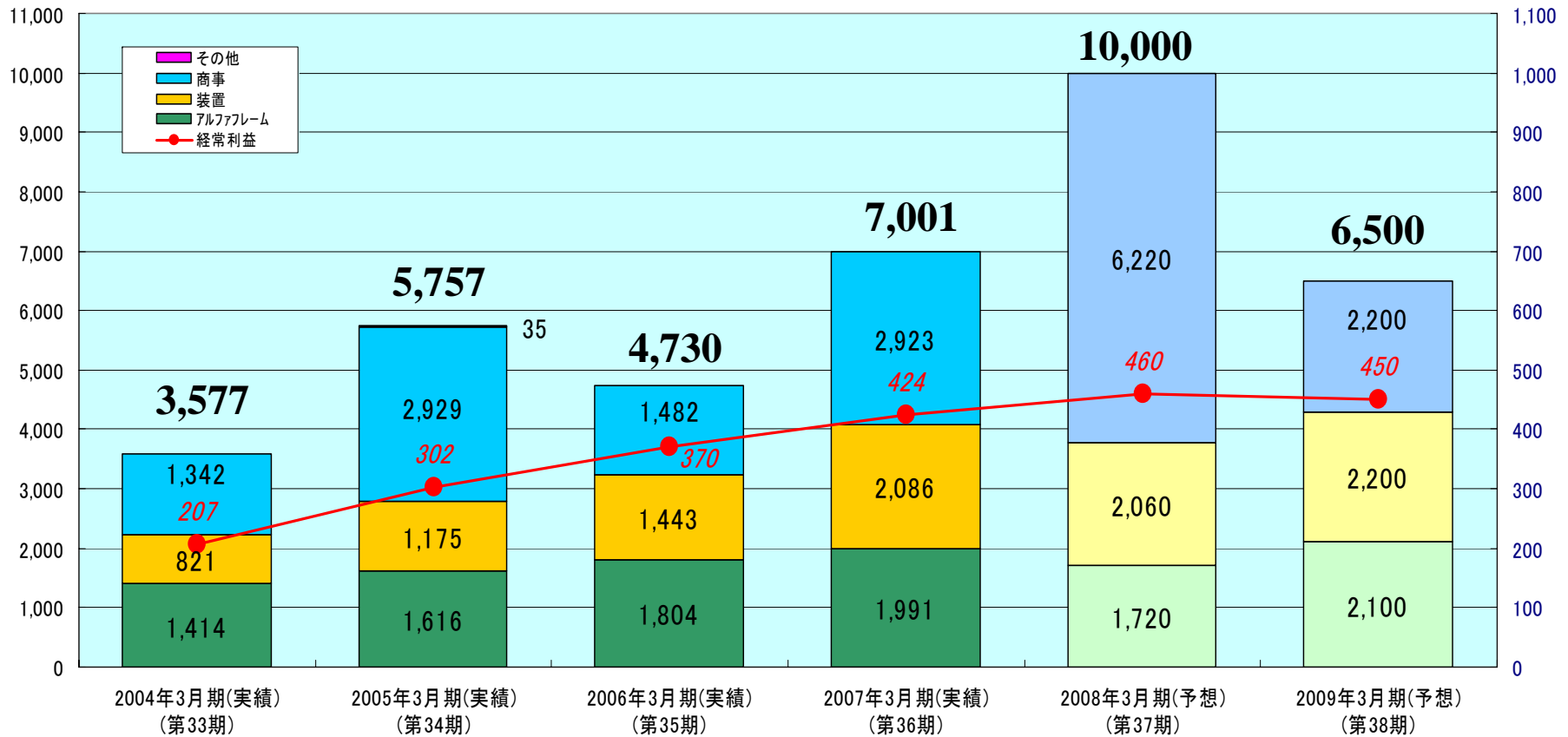


工具・ツール

# 利益計画（売上高及び経常利益の推移）

売上高  
(単位:百万円)

経常利益  
(単位:百万円)



# 通期業績の概要 前期比

(単位:百万円)

	今 期 計 画 (2008年3月期予想)		前 期 ( 参 考 ) (2007年3月期実績)		増 減	前 年 比	要 因
売 上 高	10,000	100%	7,001	100%	2,999	143%	●自動車部品の製造関連企業からの大型機械設備投資案件(部品加工専用機及び当社製品の洗浄・搬送装置等)の受注を確保できる見通しより、前期比43%増10,000百万円の売上を見込んでおります。
売上総利益 (粗利益)	1,430	14%	1,364	19%	66	105%	●原材料価格の高騰や、大型機械設備投資案件の受注による粗利益率の低下などがあるものの、前期比5%増の1,430百万円の売上総利益を見込んでおります。
営業利益	450	5%	426	6%	24	106%	●技術開発センター開設に伴う諸費用や内部統制関連費用の増加はあるものの、調達方法の再構築や合理的な経費削減効果が見込まれ、前期比6%増の450百万円を見込んでおります。
経常利益	460	5%	424	6%	36	108%	●上記の結果、前期比8%増の460百万円を見込んでおります。
当期純利益	260	3%	239	3%	21	109%	●上記の結果、前期比9%増の260百万円を見込んでおります。
設備投資	169	—	31	—	138	545%	●開発センターの取得、既存設備の更新・改修等で大幅に増加しております。
減価償却費	70	—	63	—	7	111%	●上記設備投資増による増加が見込まれます。
研究開発費	65	—	55	—	10	118%	●開発センターの取得に伴い、償却費等の負担増が見込まれます。

# 翌期業績の概要 当期比

(単位:百万円)

	翌期計画 (2009年3月期予想)		当期(参考) (2008年3月期予想)		増減	前年比	要因
売上高	6,500	100%	10,000	100%	▲3,500	65%	●商事部門における大型機械設備投資案件が一服しますが、アルファフレーム部門での設計支援ソフト(AMS)の活用により同部門の売上高は大幅に伸張。また装置部門では大型クリーンブース等の受注を見込んでおりますが、当期比35%減の減収になると見込んでおります。
売上総利益 (粗利益)	1,420	22%	1,430	14%	▲10	99%	●粗利益率の低い大型機械設備投資案件の減少により、粗利益率が大幅に改善され、当期と同様な売上総利益が確保できると見込んでおります。
営業利益	450	7%	450	5%	0	100%	●変動費(広告宣伝、運賃等)の増加がありますが、営業利益は450百万円になると見込んでおります。
経常利益	450	7%	460	5%	▲10	98%	●営業利益に伴った、経常利益を見込んでおります。
当期純利益	256	4%	260	3%	▲4	98%	●経常利益に伴った、当期純利益を見込んでおります。
設備投資	36	—	169	—	▲132	22%	●前事業年度の技術開発センター及び設計ソフト・設備更新のような大型設備投資を見込んでおりません。
減価償却費	76	—	70	—	6	109%	●設計ソフト及び設備更新による償却費負担増を見込んでおります。
研究開発費	70	—	65	—	4	107%	●次期新商品の開発投資を見込んで増加となっております。

# 事業環境と当社の取り組み

- ◆ 昨今の人材不足による設備の自動化、省力化の促進
- ◆ 簡易組立・分解、フレキシブルに優れたアルミフレーム市場の増大
- ◆ 先端技術の微細化に伴うクリーン関連製品の需要増加
- ◆ 局所クリーン装置のパイオニアとして各種マーケットへの参入



# 開発の基本方針

## ◆ 開発体制強化のため技術開発センターを設立

- ・ 開発期間の“短縮”
- ・ 解析技術強化

## ◆ 知的財産権（平成19年9月30日現在）

- ・ 特許権 33件／商標権 34件／意匠権 64件

## ◆ 省エネルギー及び環境にも配慮した製品・製造技術

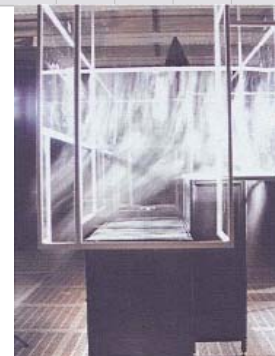
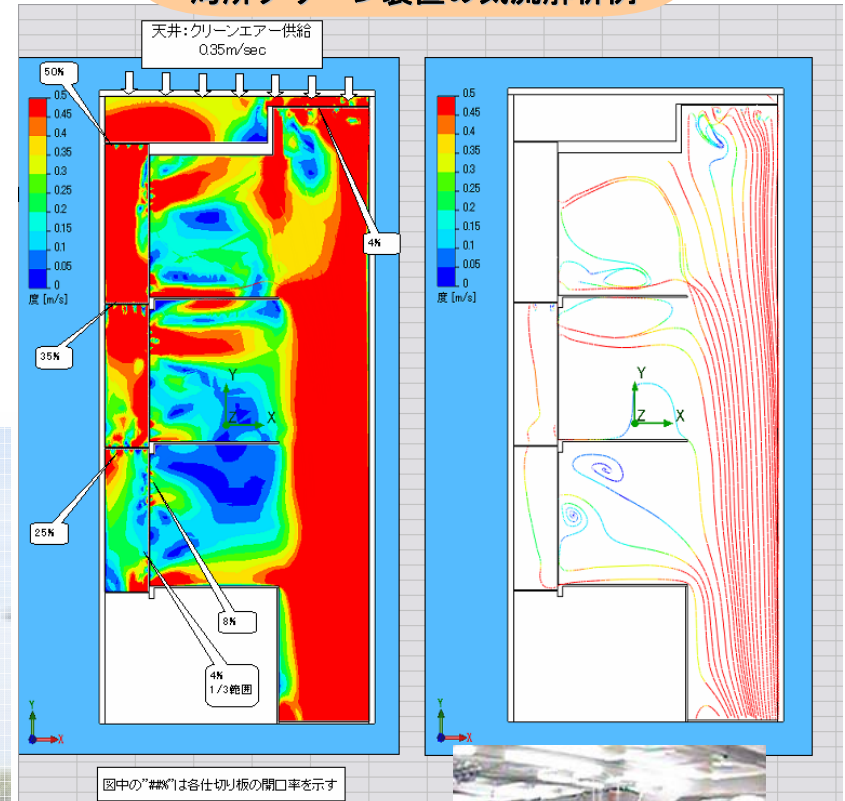
- ・ 環境問題対策として有害物質を代替物質へ変更
- ・ RoHS指令への対応拡充（EU：欧州連合格格）

## ◆ コスト低減技術の継続

- ・ 新構造アルミフレームの開発

## ◆ 高精度・高品質・高付加価値化を探究＝顧客ニーズ

### 局所クリーン装置の気流解析例



# 戦略の基本方針

**良い社員＋良い製品＝良い会社**

" good folks + good products = good company "

## ◆ 人材力＝企業のチカラ

- ・ 高度な技術・サービスの提供のための人材確保
- ・ 産学連携による技術と人事交流の推進
- ・ 社員のモチベーション維持・向上

## ◆ 高付加価値技術の提供

- ・ 技術支援
- ・ 設計支援
- ・ 短納期

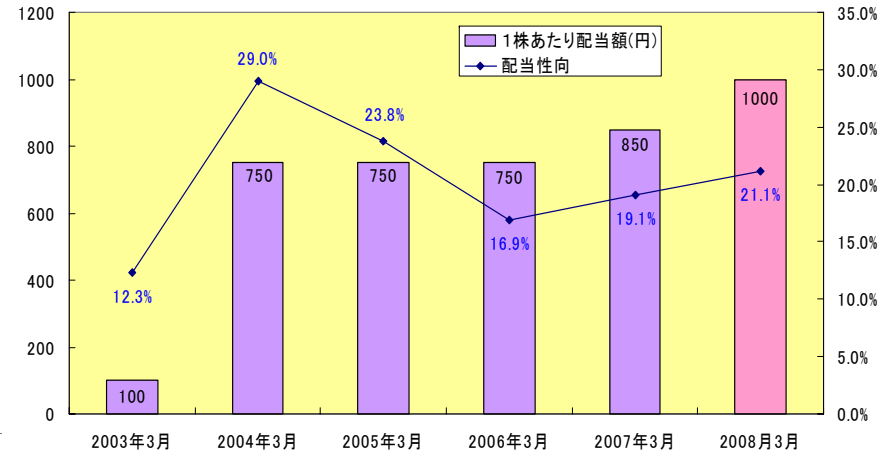
## ◆ ALFA FRAME® SYSTEMをコアとした新たな事業展開

# 株主還元について

## ◆ 利益配分に関する基本方針

「株主に対する利益還元」を戦略上の重要な経営課題として認識しており、安定的な経営基盤の強化及び業容の充実にいっそうの努力を行って収益の拡大を図り、営業成績やキャッシュ・フローの状況等を勘案して適切な配当を実施していくことを基本方針としております。

2008年3月期の期末配当は、1株当り850円に創業80周年記念配当150円を加えた1,000円を予定しております。



## ◆ 株主優待制度

株主の皆様のご支援にお応えするため、毎年3月31日現在1株以上所有の株主様に対し「クオカード」1,000円券1枚を贈呈・送付させていただきます。



- 本資料は、当社に関する情報の提供を目的とし、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想並びに記載された内容は、本資料作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料に対するお問合せは、以下のIR担当窓口にてお願い申し上げます。  
＜エヌアイシ・オートテック株式会社 経営企画室＞  
TEL: 03-5530-8066      FAX: 03-3570-2381  
Mail: [ir@nic-inc.co.jp](mailto:ir@nic-inc.co.jp)      URL: <http://www.nic-inc.co.jp/>



## **エヌアイシ・オートテック株式会社**

〒135-0063

東京都江東区有明3-1-25有明フロンティアビルB棟

TEL : 03-5530-8066